

梅酢のアユ飼料への利用効果試験

宇野悦央・中山仁志（内水面試験地）

1 目的

梅酢を添加した配合飼料のアユへの投与効果を確認する。

2 方法

1) 供試魚

供試魚は本県産海産アユを親魚として種苗生産された5代目人工種苗で、屋外池(2×5×0.3m, 水量約3m³)3面で飼育を開始した。開始時の平均体重は8.6gで、池1面当たり500尾収容し、試験区として梅酢(紀州ほそ川製梅BX70, 以下梅酢と略す)を飼料重量の0.1%の割合で添加した飼料を投与する0.1%区、梅酢を飼料の0.3%添加した飼料を投与する0.3%区および通常飼料を投与する対照区を設定した。

2) 試験項目

給飼期間中の6月30日に各試験区の総重量を測定した。

3 結果及び考察

1) 飼育結果

飼育結果を表1に示す。成長は藤井ら¹⁾が報告しているような成長阻害は認められず、むしろ梅酢添加により成長が促されているように思われる。このように結果が相反した原因としては添加率の違いがあげられる。藤井らは飼料に対して梅酢を0.5%以上添加しており、高濃度の添加は成長を抑制する方向に作用することも考えられ、適正な添加率を検討する必要があるだろう。

文献

1) 藤井久之・加藤邦彰(2006) 脱塩梅酢(BX70)添加飼料による高品質アユの生産試験。平成16年度和歌山農技セ水産試験場内水面研究所事報。

表1 飼育結果

	対照区	0.1%区	0.3%区
開始時総重量(kg)	4.3	4.3	4.3
〃 尾数	500	500	500
〃 平均体重(g)	8.6	8.6	8.6
終了時総重量(kg)	10.77	11.3	10.9
〃 尾数	493	498	496
〃 平均体重(g)	21.8	22.7	22.0
へい死尾数	7	2	4
へい死率(%)	1.4	0.4	0.8
総給飼量(kg)	7.35	7.37	7.36
飼料効率(%)	88.0	95.0	89.7
増重倍率	2.5	2.63	2.53
給飼日数(日)	50	50	50
飼育日数(日)	72	72	72